

令和3年度第4回南外地域協議会会議録

令和3年11月25日

南外地域協議会

令和3年度第4回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■議事録署名委員の指名	2
■協議	2
1) 令和3年度地域枠予算対象事業の報告について	2
➤ 【新規】南外小学校創立10周年記念式典準備	2
2) 地域枠予算事業の令和3年度における実施状況（前期）及び令和4年度の方向性について	3
3) 地域づくりに関する意見交換	5
➤ 「彩色千輪プロジェクト」（地域拠点利活用活性化事業）にかかわる市長協議の結果報告及び各地域の動向などについて	5
■閉会	13
■署名	14

令和3年度 第4回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和3年11月25日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員：11名

伊藤君夫、伊藤直人、伊藤伝悦、風口宏子
今野 徹、佐々木久、佐藤喜八郎、佐藤正行
佐藤和香、相馬静華、高橋恵子

■欠席委員：5名

伊藤成幸、伊藤まゆみ、木村ふみ子、高見正志
八嶋康晴

■出席職員：6名

○南外支所職員

佐藤 勇孝（支所長）	佐々木 満智子（市民サービス課長）
佐藤 和好（農林建設課長）	佐藤 マキ（公民館長）
木村 慎吾（地域活性化推進室主幹）	佐々木 心都（地域活性化推進室主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - 1) 令和3年度地域枠予算対象事業の報告について
 - 【新規】南外小学校創立10周年記念式典準備 市民協働型
 - 2) 地域枠予算事業の令和3年度における実施状況（前期）及び令和4年度の方向性について
 - 3) 地域づくりに関する意見交換
 - 「彩色千輪プロジェクト」（地域拠点利活用活性化事業）にかかる市長協議の結果報告及び各地域の動向などについて
- 4 閉 会
- 5 署 名

(18時00分 開会)

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

皆様、本日はお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和3年度第4回南外地域協議会を開会いたします。協議会開催にあたりまして、伊藤会長よりご挨拶をお願いいたします。

○伊藤直人会長（以下「会長」と表記）

どうも皆さんお晩でございます。師走も近くなって、天候が悪くお足元の悪い中、ご出席いただきましてありがとうございます。今日の案件は、事前にお配りしている資料の通りでありまして、地域枠予算の報告、実施状況、地域づくりに関する意見交換となっております。案件等は少ないですが、みなさんの活発な意見交換等をお願いしたいと思っております。それではよろしくをお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

ありがとうございます。それでは議事に入らせていただきます。ここからは着座させていただきます。本日の出席委員数は予定では11名となっております。風口さんがまだ見えていないですが、定刻となりましたので始めさせていただきます。委員の2分の1に出席者数が達しておりますので本会議は成立することをご報告いたします。

本日の議題は、その他を含めまして4件であります。また、会議録作成のため録音させていただくことをあらかじめお断り申し上げます。なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは議事の進行は伊藤会長をお願いいたします。

○会長

それでは協議会を始めます。議題に入る前に、本日の議事録署名委員を指名します。伊藤伝悦委員と佐藤和香委員をお願いいたします。

それでは議事を進めてまいります。本日の協議案件1、「令和3年度地域枠予算対象事業の報告」について、事務局より説明をお願いいたします。

○佐々木地域活性化推進室主事（以下「地域活性化推進室主事」と表記）

■ 【新規】南外小学校創立10周年記念式典準備事業 市民協働型

- 事業の目的：南外小学校が令和4年度に創立10周年を迎えるにあたって、同校児童の保護者や学校関係者が記念事業準備委員会をつくって、現在記念式典等の事業の実施に向けて準備を進めている。昨今は、児童数と比例してPTA会員数も減少しているため、その影響で本事業の活動資金の調達に苦慮していることから、行政が市民の自発的な取り組みを支援して、記念行事をきっかけとする地域住民の郷土愛の醸成に資することを目的とする。

- 予算額：110,000円（備品購入費）

○会長

説明が終わりましたので、委員の皆さんからご質問やご意見等を伺いたいと思います。

○佐藤喜八郎委員

事業の中で備品購入という予算科目があるのですが、事業費全体の何割以内などという縛りはあるのですか。

○地域活性化推進室主事

特にないです。

○会長

他にありませんでしょうか。来年の事業のようですが、その準備段階として事業費が13万円で地域枠予算が11万円ということでした。

質問がないようでしたら、続きまして協議案件2、「地域枠予算事業の令和3年度前期における実施状況及び令和4年度の方向性」について事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主事

■ 令和3年度地域枠予算実績（前期）

- ① 事業名：【継続】南外地域枠予算特集号発行事業 行政主導型
実績額：139,590円（印刷製本費）
- ② 事業名：【新規】南外さいかい市健康サロン 行政主導型
実績額：53,135円（報償費・消耗品費・使用料）
- ③ 事業名：【新規】築堤工事による檜岡城案内看板移設事業 行政主導型
実績額：407,550円（印刷製本費・委託料）
- ④ 事業名：【継続】南外地域花いっぱい運動 市民協働型
実績額：225,000円（原材料費）
- ⑤ 事業名：【継続】環境整備活動事業 市民協働型
実績額：1,124,190円（保険料・使用料）
- ⑥ 事業名：【継続】国道105号線コスモス植栽事業 市民協働型
実績額：178,695円（消耗品費・原材料費）

- ⑦ 事業名：【継続】 檜岡城を守る会活動補助事業 市民主導型
実績額：51,000円（補助金）

■ 令和3年度地域枠予算の中止・未申請事業

【中止事業】

- ・ 南外地域活性化支援協議会活動補助事業
- ・ 第15回さなぶり酒花火事業
- ・ 南外盆踊り開催事業
- ・ 第9回南外地域運動会開催事業
- ・ なんがい地域祭開催事業
- ・ ふるさと南外の会を応援する会
- ・ 第5回クリスマスパーティ in 南外開催事業
- ・ 第8回おらほの桜まつり開催事業

【未申請事業】

- ・ なんがい青空市開催事業
- ・ 南外さいかい市イベント開催事業
- ・ 南外地域桜守り事業
- ・ 河川支障木伐採事業
- ・ 第8回南外小唄まつり開催事業

○地域活性化推進室主幹

■ 令和4年度地域枠予算事業の方向性

- ▶ これまで継続してきた事業については、関係者の意見を聴取した上で来年度も継続することを前提に予算を確保する。
- ▶ 新規事業として、南外小学校創立10周年記念式典にかかる予算と南外ジュニア起業体験事業をブラッシュアップした、地元の中学生の地域づくり活動を後押しする事業の予算も要求している。

○会長

ありがとうございました。一通り説明をしていただきましたけれども、委員の皆さんからご意見やご質問等ありましたら伺いたいと思いますが、何かありますでしょうか。

コロナのため大分中止事業がありますが、クリスマスパーティと南外小唄まつり事業はまだ開催の見込みがあるということでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

クリスマスパーティに関しては、中止ということで実行委員会で決定なされたようです。

南外小唄まつりに関しては、予定では2月を目標に開催する予定で、今のところは実施する方向です。

○会長

他にご意見、ご質問等ありますでしょうか。

【意見・質問なし】

特に無いようですので、地域枠予算事業の令和3年度前期における実施状況及び令和4年度の方角性について終わりたいと思います。

続きまして協議案件3、「地域づくりに関する意見交換」につきまして事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

【説明事項について内容説明】

○地域活性化推進室主事

■ 令和3年度彩色千輪プロジェクト ～各地域の拠点と地域づくりにの方角性～（市長協議後）

○ 大曲

【拠点】

はなび・アム

【方角性】

花火・歴史・偉人・商店街などの魅力をPRするイベント等を開催したり、地域資源として活用したりすることで、はなび・アムの認知度向上とともに地域資源や歴史学習等に興味・関心を持ってもらう。

【想定事業・イベント】

- ・ 花火玉カーリング
- ・ まちあるき 等

○ 神岡

【拠点】

道の駅かみおか

【方角性】

産学官連携による特産品開発や、きめ細かい清掃・修繕、定期的な商品入れ替え等による明るく清潔で常に目新しさを感じられる施設づくり等「楽

しい・美しい・新しい」道の駅を目指す。

【想定事業・イベント】

- ・ 民間企業等と連携した特産品開発
- ・ 就農相談イベント等による PR 等

○ 西仙北

【拠点】

大綱交流館

【方向性】

少子化・人口減少対策に繋げるために、若い人・女性を呼び込む施策や、まちづくりのための若者参画、大綱引きの伝統文化継承など地域のにぎわい創出を目指す。

【想定事業・イベント】

- ・ 若者、女性のコミュニティ形成の場を事業企画（セミナー、フリーマーケット等）
- ・ 子供を対象とした体験教室 等

○ 中仙

【拠点】

道の駅なかせん

【方向性】

人が訪れ、人が集う「楽しい」「美味しい」があふれる観光と交流の拠点を目指す。

【想定事業・イベント】

- ・ なかせん千本桜プロジェクト事業
- ・ 地域特産品商品化事業 等

○ 協和

【拠点】

和ピア

【方向性】

さらなる賑わいと交流を生み出すために、「子どもの遊び場」となる機能を追加し、子育て世代を中心とした事業も企画しながら、誰もが気軽に楽しむことができる施設へ整備することで、地域の活性化を図る。

【想定事業・イベント】

- ・ 世代間交流事業（食の交流、スポーツ交流等）
- ・ 唐松神社、能楽殿を活用した事業（スタンプラリー等）

○ 仙北

【拠点】

仙北ふれあい文化センター

【方向性】

ふれあい公園内にある9つのエリアを有効に活用し、仙北ふれあい文化センターを核とした魅力的なエリアづくりや、スポーツによる地域の活性化と交流人口の拡大等を推進していく。

【想定事業・イベント】

- ・ 官民連携事業
- ・ 地域団体育成と地域活性化を目的とした多様な連携事業

○ 太田

【拠点】

横沢公園

【方向性】

太田地域の「花と緑のまち」を体感できる公園機能を強化し、子育て世代を中心に据えた新たなイベントの開催と、心と体の健康づくりで、笑顔あふれる花と緑のまちを目指す。

【想定事業・イベント】

- ・ 子ども向けイベント
- ・ アウトドア教室、防災キャンプ

○ 南外

【拠点】

ふるさと館、民俗資料交流館、さいかい市が並ぶエリア

【方向性】

自立してコンパクト、子どもからお年寄りまで元気で安心、自然豊かで人が集える南外を目指す。

【想定事業・イベント】

- ・ 委員や地域住民の意見収集
- ・ 民俗資料交流館への新たな展示物の設置

○地域活性化推進室主幹

■ 南外地域における彩色千輪プロジェクト（市長協議後）

1. 南外地域の「拠点」

- ▶ 南外ふるさと館、南外民俗資料交流館、南外さいかい市の3施設が並ぶエ

リア

2. 地域活性化の方向性

- 自立してコンパクトな南外
- 子どもからお年寄りまで元気で安心な南外
- 自然豊かで人が集える南外

3. 市長の意見

- 拠点の位置は、今回は外小友地区で選定したとしても、1サイクル終了したら今度は南檜岡地区に置いてもいいだろう。南外全体を盛り上げられるように考えてほしい。
- この拠点を活用して、どのような方向性で、何を進めていくかが一番大事。
- 「南外さいかい市」を運営している方々と市との連携を通じて、どう手を加えればこのエリアの魅力向上につながるか、お客さんが増やせるのかをこれから考えていく必要がある。コロナ禍の影響もあると思うが、この場所でイベントなどを開催して盛り上げるなどしてほしい。

○会長

ありがとうございました。今までの彩色千輪プロジェクト事業の内容につきまして取りまとめてくださいましたけれども、委員の皆さん、今日この場で何か感じていること思っていることありましたら伺いたいと思います。何かありますでしょうか。

事務局でも色々な委員の皆さんの意見を集約してくださいました。市長の意見にもあるように、今回はこの地区で始めたけれども1サイクル終わったら、拠点を南檜岡地区にしてもいいのではないかというお話もあったようでございます。市長が一番心配しているのは、この拠点を活用してこれからどのように南外地域のにぎわいを作っていくのかということですが、これをさいかい市の皆様だけに期待するのも酷かなと思いますので、どのような形で手助けできるか、盛り上げることができるかなど、そういったことを委員の皆さんから何かご提言ありましたら大変幸いだなと思います。急に言われてもないかもしれませんが、せっかくなので南外地域を盛り上げるイベントを立ち上げようとしていることですので、絵に描いた餅にならないように何かしらまとめていければと思います。どうでしょうか。

また、今後の彩色千輪プロジェクトの進め方のフォローみたいなものが漠然とでもあったら伺えたらと思うのですがありますでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

今回、各地域の拠点施設と方向性の資料を準備して説明させていただきましたが、こちらのほうをご覧いただくと、他地域と比較すればわかる通り、南外では現時点で具体的な

案というのがない状態であります。これは他地域では拠点を決めるにあたって、事務局側ではこういった意義があって、この拠点ではこういうことができるのではないですか、という話の持っていく方をしたのかなという風に思えました。短い期間で込み入った部分まで話が進んでいるようでした。今回全ての地域の市長協議の様子をリモートで見させてもらったのですが、拠点の選定と地域づくりの方向性に関しましては、今回のプロジェクトの話が持ち上がる以前から、地元の公共施設の在り方に問題意識を持っていた地域と、不満が出ていなかった地域とでは、決め方のスピード感に差があったと感じています。

南外は拠点と方向性に関しては決めたところなのですが、具体的に何をやっていくかということに関しては、現時点では全く白紙の状態です。まだまだ話し合いの余地があるわけですが、事務局側としてもキャッチフレーズに照らし合わせるような形で、それにマッチするような事業案というのをこちらで提案できれば良いと思っています。

○佐藤正行副会長（以下「副会長」と表記）

すみません。自分の趣味の話になるのですが、市長の意見の中で拠点を活用して、何をしていくかが一番大事だというお話がありましたけれども、南外の場合は拠点のエリアに温泉がありますよね。南外ふるさと館というところがあって、2階に大部屋があるのですが、私は映画が好きなんです。十文字は映画祭といって大きく実施しているのですが、あのような場所を活用してミニ上映会などを南外地域の人を集めて、お知らせして上映するなど、そのようなものをふるさと館を活用するという意味で、何かしらできないのかなと思いました。今、たまたま携帯を見たら美郷町の六郷地区でも、古い建物を映画館みたいに改築して、上映しているというのをちらっと見ました。たまたま私も映画好きでそういう企画もどうか、という風に思いましたのでちょっとお話させていただきました。

○地域活性化推進室主幹

ありがとうございます。すごく貴重なお話だと思います。そのような共通の趣味でつながるといような形、小規模からスタートして、少しずつ輪を大きくしていくような仕組みや仕掛けで地域を盛り上げていくのも一つの案かなとこちらでも考えておりましたので、今の案を参考に何かできないのか、というのを探っていきたいと思います。よろしくお願いたします。

○会長

さいかい市の所で今までなかったような行事も開催されていきましたよね。中学生の販売会など、実施したイベントを少し紹介してもらえますか。

○地域活性化推進室主幹

今年度に関しては、コロナの影響もあって大きなイベントができませんでした。ですが、会長もおっしゃっていたように10月20日に今年の魅力再発見事業の一環で、中学生の皆さんがエリアの中にある民俗資料交流館を会場にしまして、販売会を実施しました。お

客さんの数は保護者を中心にしつつも、住民の皆さんからも来ていただきまして、100人を超える方に来てもらえたと思います。

同日、さいかい市でも普段は販売しないような生鮮食品の販売を行いました。売り上げに関しては、通常日の2倍に近い売り上げを記録できたというお話を聞いております。中学校にもお話ししましたが、今年に関しては中学生の子供たちが外に出かけて何かをする活動がなかなかできなかったということもあって、中学生が地域の皆さんと交わることができて非常に喜んでいただいていたという話を聞いております。そういった声も受けまして、来年度も今回実施した起業体験を基本にした、中学生が参加できるような地域づくり活動をやってみたいと思っています。

このふるさと館と民俗資料交流館とさいかい市が並ぶエリアに関しましては、一昨年に南外うまいもん市を開催しました。ふるさと館で様々な催しをした上で、各会場で物産販売のようなイベントを実施しています。今年に関しましては、コロナの影響でできなかったのですが、コロナの状況が落ち着きましたら、何かそのような3館合同でできるようなイベントを企画できれば良いと思っています。この辺りはさいかい市の関係者や施設所管の担当者と協議しながら検討していければと思っています。

○会長

ありがとうございました。委員の皆さん他に何かありますでしょうか。

○伊藤伝悦委員

先程の副会長のお話を聞いてすごくいいなと思いました。映画館で上映されないような映画ってありますよね。ちょっとしたところで上映するようなものを南外ふるさと館で行い、さっきの事務局のお話でも良い意見だと感じてくれているようなので、実施してみてもいいのではと思います。

ふるさと館のことで思いついたのですが、私はよく温泉を利用するのですが、たまたま10月8日の金曜日に、私の知っている県のスポーツ部のスポーツ科学センターに勤めている方がいました。なぜわざわざここまで来たのか聞きましたら、運動のインストラクターのような、体を動かしてあちこち弱くなっているのをこれ以上弱くならないように現状維持くらいにとどめておけるような機能訓練、体操のようなことを実施しているそうです。電話をもらえば出張して、無償で来ているということでした。せっかくこの3施設の中に温泉もありますし、最近は利用していないのですが2階も結構広い部屋があったかと思えますので、そういうのも実行していただければと今ふと思いました。

○会長

色々話題も膨らんできたようで、これを実施に向けていければと思います。

○佐藤喜八郎委員

最近はやっているSDGsというのがありまして、17の目標を国連で叫んでいるんで

すけれども、SDGs 17の講座を実施してみてもどうかと思います。そこから南外で取り組んでいるものはどういうものがあるのかというのが見えてくるのではと思います。私はあまりSDGsは信用しない方なのですが、1つの方法として、例えばですがSDGs南外サミット講座などという講座があれば良いのではと思いました。

○会長

ありがとうございました。SDGsというものがちょっとよく分らないのですが、どういうものなのでしょう。

○佐藤喜八郎委員

持続可能な開発目標ということです。地球の温度が1.5度上がるともう元には戻れないという危機感を持っている学者がいて、それもそのうちの1つです。今後、孫子の世代まで、風潮などが守られていくような環境を作ろうということだろうと思います。南外にぴったりかなと思います。

○会長

とても貴重なお話をいただきました。他にご意見、ご質問、提言等ありましたら伺いたいと思いますがありますでしょうか。

これから、皆さんに出していただいた意見の中から選んだり、次回の協議会の中で新たな提言をしてもらってもいいかなと思います。彩色千輪プロジェクトを推し進めていきたいと思いますので、委員の皆さんからも今後とも後押しの方をよろしく願いいたします。

○伊藤君夫委員

今、事務局でもおっしゃられた通り、南外地域における想定される事業がないということ、方向性もなければ具体的なところもまだいないという状況が明らかですね。具体的に何をやっていくのかということについて、この協議会そのもので案を出していくのがメインなのか、それとも色々な組織や会など、そういうところにも意見を募ってきて拾っていくという計画なのか、その辺りを少し教えてほしいと思います。

○地域活性化推進室主幹

彩色千輪プロジェクトの中で、南外では何をやっていくかということに関しての決め方、考え方についてなのですが、この部分に関しましてもはっきり言えば、白紙の状態です。ですが、決め方に関しては年度内の協議会の中でこういった形で決めにいってはどうかという案を考えて、皆さんにご意見を伺えればと思っております。現時点では、決め方に関しては白紙の状態です。

○伊藤君夫委員

そうすれば、先程の色々な具体例的な話があるのですけれども、そのような部分をまず

すごく参考にするということですか。

○地域活性化推進室主幹

今様々な意見が出てきているのでそこも踏まえつつ、他の地域ですと、ある程度ターゲットを絞り込みした上でアンケート調査をしているところもあります。例えば、西仙北では若い方たちを対象として、アンケート調査を実施した上で、それを地域づくりに活かしていくという考え方を持っているようですので、そういった他地域も参考にしながら決め方を考えていきたいと思っています。

○伊藤君夫委員

資料をみると、他の地域ではかなり具体的などころまで計画しているように見えますよね。他の地域の様子を見て、南外もそれを参考にして、この中から何かやることないでしょうか、という形にすればいつまでたっても具体性を持たないです。先程の映画上映の話も色々な案が出てくるということは良いのですが、この協議会だけの部分がメインになってしまえば、正直言って発展性がないと思います。

何を言いたいかという、このプロジェクトを実施するにあたって活性化とは何だろうという部分をきちんとつかんでからでないと、みんなで集まって意見を出し合うのがいいのか、それともイベントでどんちゃん騒ぎをするのがいいのか、他市町村から人を集めて何かを行い、その何かの部分我々が考えて外に投げかけるのを活性化とするのか、というのをある程度決めていかないと、協議会だけで決定していくものがウェイトが大きいものだとすれば、自分個人としては少し重たいです。

○地域活性化推進室主幹

決め方に関しましては、役所の中でも方向性が定まっていない部分があり、あくまで個人的な考え方なのですが、全部協議会の中で決めるというのは難しいと思います。ここにお集まりの皆さんは、一番若い方でも40代から上になるのですけれども、これから地域づくりに関わってほしいのは、さらにその下の世代の人たちです。実際拠点の話になって、その拠点を長く使っていくとなった場合には、若い世代の人たちに使ってもらおうということを視野に入れていかなければいけないと思います。ですので、当然若い世代の意見も汲み上げるようなやり方を考えていかなくてはいけないので、その方法に関しましては、現段階では詳細にお話しできない部分もありますので、次回以降で何かしらこの方法で実施していきます、という案を示せたら良いと思っています。

ですが、大前提として方向性は、協議会の中で決めてもらったキャッチフレーズに沿うようなものが望ましいのではないかと考えていますので、何かをするにしてもある程度これらのキャッチフレーズがイメージできるようなものが良いと思っています。

○伊藤君夫委員

地域予算を使う色々な事業がありますが、我々の先輩も含め地域協議会にいる人たち

が、ある程度主導権を握って、自分の集落内でこういうことを地域協議会で挙げて予算をもらいましょうか、という風潮がありました。自分たちの住んでいる地域では、何を予算を使って活性化するかをみんなに言って意見を集めたりするのが協議会委員としての仕事なのか、それとも出てきた意見を拾ってこの場に持ってくるのか、今はコロナのせいでもかなりお金を使わないでしまって、件数が少ないですね。活性化に対しての協議、活性化のための地域枠予算があるにも関わらず、かなり少なくなってきたというのが我々委員の活動をそこに向けてしなければいけないのではないかという危機感もあります。70歳を超えると、我々の意見は通るようでは通らない部分があるのが私個人としての見解があります。

今のように協議会の方向性をこうしましょうということに対して、ではこのようなのはいかがでしょうかと意見は出てくるとは思うのですが、この先を見据える人たちにどのようにして協力してもらおうかなどという部分を編み出すというのが今回のプロジェクトの一番重要なところのような気がします。

○会長

そういう部分を日頃集めて、この場で皆さんに話題を提供して、審議してもらえそうな案件に関しては、意見を出してもらい相談していけば良いのではないのでしょうか。それもこの会議の1つの重要な存在意義だと思います。毎回、その他を出していますので、その中でもあまり重たい話や大変な話になるとまとまりきらないかもしれませんが、協議してまとまりそうな事案がありましたらやらせていただければと思います。

今回の彩色千輪プロジェクトも、まだ白紙に少し色がつき始めてきたというところで、先程の中学生の社会学習に肉付けしていくとか映画の話とか、色々これから肉付けして委員の皆さんからいただいた基本コンセプトを大事にしながら事業を計画していくということのようです。これを他に丸投げというのはまずいと思いますので、やはり事務局と協議会の中である程度絞って、全体からアンケートをとったりするのは良いかと思いますが、少し他に依頼するのもどうかと思いますので、皆さんも次回まで、例えば今の映画のような話や今まで南外地域で行われている事業やイベント等を必ずしもふれあいパークや体育館でなくても、さいかい市の辺りでできるのでは、などそういったことも検討していければと思います。何か他に意見はありますか。なければ、次回まで皆さんの意見を絞って検討していただければと思います。

それではその他に入りますがよろしいでしょうか。その他で何か委員の皆さんから、この他に考えてほしいことや新しいことありましたら伺いたいと思います。

【意見等なし】

特に今日もお持ちでないようですので、その他についても閉じさせていただきたいと思っています。

以上で本日の議題はすべて終了といたします。これをもちまして、令和3年度第4回南

外地域協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

(19時00分 閉会)

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊藤 伝悦

佐藤 和香
